

～高低差 10mの筑後川から水を引くため、江戸時代、つるはしだけで2kmのトンネルを掘り抜いた偉業～

郷土の偉人・田代重栄 没後 330 年の祭典で、DVD「袋野隧道物語」初披露

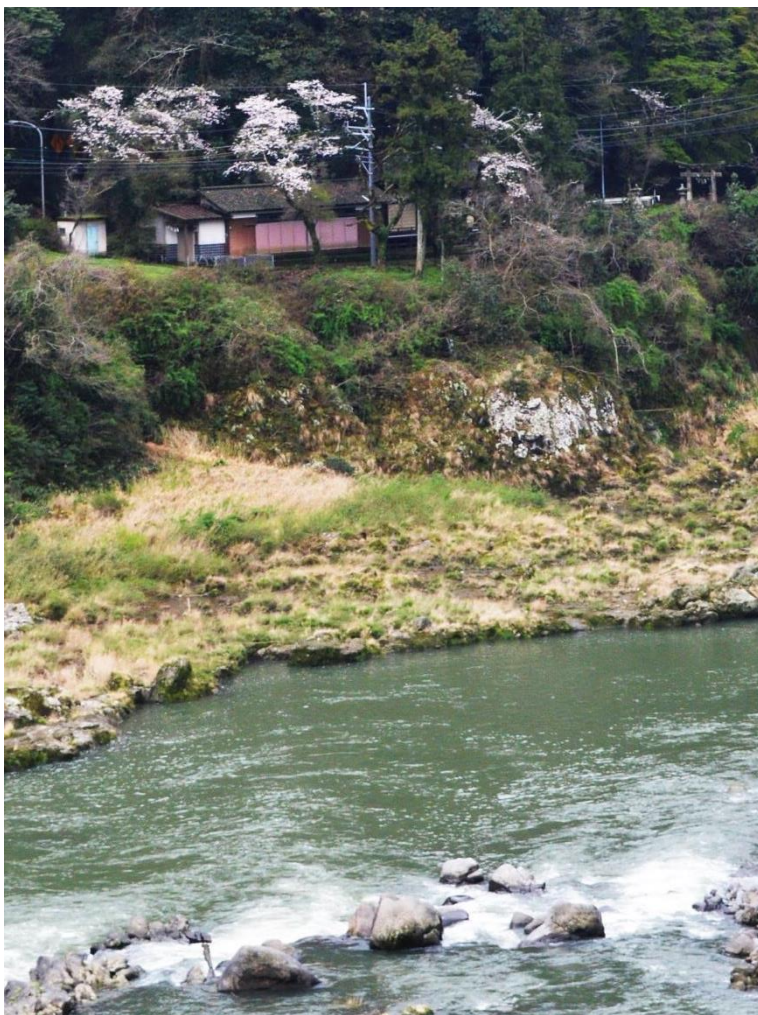
袋野隧道は江戸時代 (1673 年) に地元の大庄屋・田代重栄(しげよし)=肖像、重仍(しげより) 親子が私財を投じ完成させた全長約 2 kmの灌漑用のトンネル。1672 年 6 月、坑夫はツルハシのみを頼りに筑後川左岸「うその瀬」と呼ばれる岸壁から掘り進み始め、約 70m おきに外部から横穴を掘り、石塊を出してはまた測量し直しながら翌年 3 月、トンネルを完遂。川から取水した水は隧道を流れ、約 400 畝の田畑を潤す。『田畑潤す貫水(ぬきみず)に偉人の功徳ばれて』と地元山春小学校の校歌で歌い継がれる。重栄を祀る田栄(たさか)神社(氏子代表・堀万治)は、命日(貞享 4 年・1687 年 3 月 14 日没、行年 72 歳)に当たる 4 月 14 日(旧暦により遅れ)に毎年祭典を行う。今回、没後 330 年に当たり郷土の歴史を学ぶためうきは市が制作した「袋野隧道物語」(15 分の DVD) が初披露される。



▲田代重栄の肖像画

■日時 4 月 14 日(金) 午前 10 時 30 分から

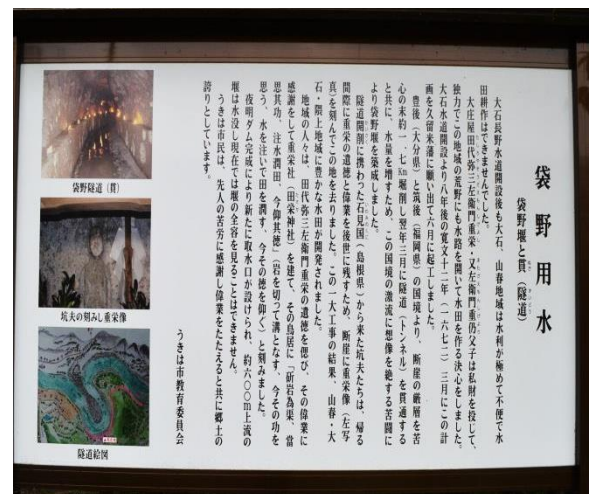
■場所 うきは市浮羽町三春・袋野地区 田栄神社
(日田方面に向かい国道 210 号「袋野」信号を右折後直進 200m)



▲ 筑後川(写真手前)と田栄神社(写真上方、袋野隧道の真上に築造)、その高低差は 10mほどある



▲ 3 年ごとに隧道の中を歩く探検を開催



▲ 田栄神社の説明看板

編集: うきは市総務課広報係 (Tel.0943-75-4980) 係長・瀧内宏治、重富結人(瀧内: 携帯 090-7454-6381)

※「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索

2017.4.10 発表 / 郷土の偉人・田代重栄 没後 330 年の祭典で、DVD「袋野隧道物語」初披露